

植物の写真をうまく撮る際の‘役に立つかわからない’覚書 其の一

植いき新聞



植物いきいきサークル

第48号

発行者:犬丸

はじめに 近年の IT 技術の発達には著しいものがあり、以前では難しかった個人的な作品や思想に関する世界中への発信も、ブログやソーシャルネットワークサービス（SNS）を通して容易にできるようになった。また、その恩恵から、画像や動画の発展も著しく、高価だったデジタルカメラやデジタルシネマカメラも個人で所有できるようになった。さらに、スマートフォンの画像技術の発展にも目覚ましいものがあり、スマートフォンの画像技術の拡大に伴って、いわゆるコンデジ（コンパクトデジタルカメラ）の売れ行きが低迷したとのニュースもある¹⁾。しかしながら、どのような画像や動画の機器が発達しようとも、画像や動画を最終的に撮るのは、人間のこころによる判断に基づくことは変わらない（だろう）と思っている。そこで、本新聞では植物の写真（画像）をうまく撮る際に覚えておくと有益（かもしれない）となることについて、よく知っている人には釈迦に説法になるも、ここに記載したい。

画像センサー 現在は様々なカメラやスマートフォンがあるために、どれが機器的にいいのか判断しにくいことがある。ここでは、その判断材料の一つとなる画像センサーの大きさについて論

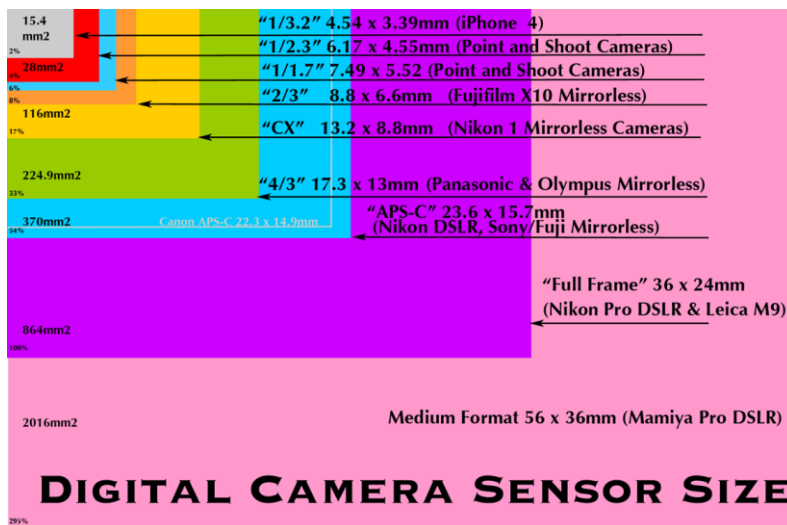


図 画像センサーのサイズ

量も多くとれ、さらにレンズ交換もできるため、撮れる画像は高画質で、かつ、表現にも幅がでる。銀塩フィルムカメラ時代は” Full Frame” とある 35mm フィルムサイズが一般的であり、ほとんどの人はコンパクト、一眼レフに関わらずこのサイズを使用していたが、デジタルになると様々な画像サイズがあることが分かる。

35mm 銀塩フィルムの画素数はおよそ 1000～2000 万画素³⁾とされているが、すでにデジタルカメラの画素数（2015. 3. 4 現在の” Full Frame” の最高画素数は Canon の 5060 万画素）はこれを凌駕した。

其の二では当センサーサイズと焦点距離の関係について述べたい（ただし、其の二の発行時期は特に決ま

1) http://ipod.item-get.com/2013/04/_iphone_8.php（閲覧:2015. 3. 4）

2) <http://vertephoto.blogspot.jp/2013/03/phone-vs-camera.html>（閲覧:2015. 3. 4）

3) http://faq.fujifilm.jp/filmandcamera/faq_detail.html?id=120100144（閲覧:2015. 3. 4）